



クアラルンプールのナイトクラブ「Lane 23」が L-Acoustics Kシリーズでゲストに最高の体験を届ける



2025年2月

クアラルンプールの複合施設 The Exchange TRX の最新施設である Lane 23 は、カスタム設計の L-Acoustics プロフェッショナル・サウンドシステムを搭載した複数のエンターテインメントスペースをひとつ屋根の下に集結させています。2024年10月にオープンしたこの複合施設は、カフェ・レストラン、カクテル・バーと、国内外のDJが毎晩パフォーマンスを繰り広げる、1,200人を収容できるナイトクラブで構成されています。

オープン以来、Lane 23 はマレーシアのエンターテインメント・シーンで確固たる地位を築き、毎日、地元の芸能人と国際的なツアー・アーティストの両方をフィーチャーしたプログラムを開催しています。Rlvo、Marten Høger、Dimension、Sub Focus、Dubfire、Nastia、Danny Avila、Bangkok Invaders、Irwan、CzaなどのDJが、ハウス、テクノ、ドラム&ベース、EDM、R&B、ヒップホップなどのパフォーマンスで、増え続けるクラブのオーディエンスを楽しませてきました。

「クアラルンプールのエンターテインメント・シーンに、真に特別なものを提供することを目標に、Lane 23 を設立しました。」と語るのは共同建設者のヴィクター・ワン (Victor Wang) 氏。「L-Acoustics のシステムは、そのビジョンの重要な一部でした。レストランでディナーを楽しんでいる時も、クラブで踊っている時も、その音質が全体の雰囲気を高めてくれます。まさにゲストが期待する最高のレベルです。」

両端にDJブースが設置されている、長さ50メートル、幅11メートルの特徴的なメイン・ダンスフロアを持ち、クラブ全体に音響処理が施されている Lane 23 は、独特な課題をもたらしました。

マレーシアの L-Acoustics 公認プロバイダー・ディストリビューターである Digital Aid (D8 Projects) と密接に協力し、ヴィクター・ワン氏は、屋内クラブ環境に完璧に対応できるパワーと精度を組み合わせる K3 システムを選択しました。設置の過程では、L-Acoustics が得意とする深い技術的専門知識と協力的なアプローチが披露されました。

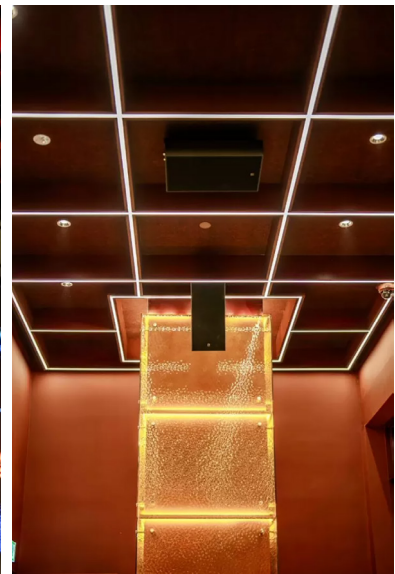
D8 Projects は、会場の照明デザインチームと密接に協力し、まとまりのあるオーディオビジュアル環境を作り上げました。L-Acoustics Soundvision 3D モデリング・ソフトウェアを用いて、Lane 23 の照明インフラとシームレスに統合しながら、最適な音響カバレッジを確保するスピーカー配置を考案しました。その結果、音響のパフォーマンスと照明のインパクトの両方が維持され、クラブの独特な雰囲気を作り出されました。



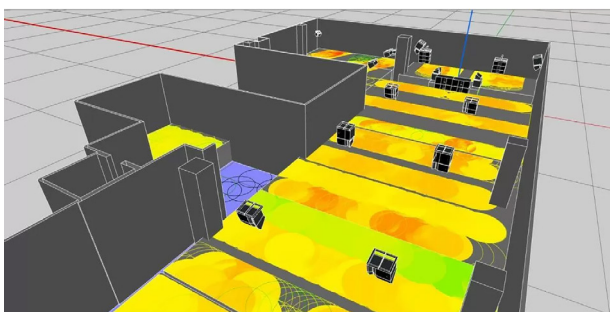


「リアルタイムでカバレッジパターンを視覚化し、調整できるので、最適なサウンドデリバリーと照明デザイン要件の間のスイートスポットを見つけることができました。」とD8 ProjectsのCEO、ヘンリー・ハリ・ラム (Henry Hari Ram) 氏は説明します。「ダンスフロアのどの場所においても、すべてのゲストが同じ優れた音質を体験できるようにしながら、照明器具と調和するようにスピーカーを配置しました。」

D8 Projectsのチームは、メインステージ用に片側3台のK3iで構成されるシステムを設計しました。カバレッジを最適化するためにKシリーズのPanflexテクノロジーを活用し、中下段のK3iは110°に設定された指向性で広いカバレッジを達成し、上段の1台は90°の指向性で50mの客席エリアの奥まで届けます。4台のKS28サブウーハーはDJブースの前にグラウンドスタックされ、クラブ環境に不可欠なパワフルなローエンドのインパクトを実現します。3組のディレイアレイは、A15i FocusとWideを使用し、中央のアレイにはKS21iサブウーハーをフライングしています。



DJブースのA15i Wide



Soundvisionで確認できるカバレッジ

メイン・ダンスフロアの反対側にある会場のラウンジ・エリアには、2台のA15i Focusと2台のKS28サブウーハーがフライングされており、一貫したサウンドとパワフルな低域を実現することで、会場が誇るサウンド・クオリティを提供しています。左右のDJブースには、A15i WideとKS21iで構成されているモニタリングシステムがあり、DJは観客と同じプレミアムなサウンド・クオリティを体験することができます。

細部へのこだわりはメイン・ダンスフロアにとどまりません。会場のVIPエリアとアーティストのホスピタリティスペースには、それぞれA15i エンクロージャーとKS21サブウーハーが設置されています。一方、1階のレストランススペースには、L-AcousticsのX8iスピーカーと超薄型サブウーハーSB6iが設置されており、建築デザインの中に巧みに溶け込むことで、洗練された美しさを保ちながら、優れた音質を実現しています。

「ゲストとアーティストの両方から高い評価をいただいています。」とワン氏は語ります。「国際的なアーティストがここで演奏すると、必ずサウンドシステムを褒めてくれます。当施設のサウンドシステムは一流のアーティストをひきつけ、Lane 23を東南アジアのナイトライフシーンにおける一流の場所として確立させる重要な要因となっています。」